

平成 29 年度第 5 回経営会議概要

- 1 開催日時：平成 29 年 7 月 21 日（金）9:00～9:40
- 2 開催場所：プレゼンテーションルーム
- 3 議事概要：以下のとおり
（●議題提出部局説明・回答、☆意見・質問）

議題 1 平成 30 年度当初予算編成に向けて

●下村課長【財政課】（資料 1 に基づき説明）

平成 30 年度当初予算編成に向けて、中期財政見通しを説明するとともに、各部局での財源確保の取組をお願いしたい。

6 月 5 日の全員協議会に提出した「三重県財政の健全化に向けた集中取組」の中期財政見通しによると、平成 30 年度当初予算は、厳しい編成となった平成 29 年度当初予算と同程度の事業規模を前提としてもなお、要調整額が 96 億円となっていることをご承知おきいただきたい。

また、平成 28 年度決算の状況が昨年度よりも厳しい見通しとなっており、要調整額は 111 億円に増加し、さらに、各部局からの大規模臨時的経費の要望額も相当額に上っており、厳しい編成が見込まれることをご承知おきいただきたい。

このため、12 月補正での財政調整基金の残高を確保するため、配当留保を上回る減額や、事業の休止等の取組、より一層の財源確保に取り組んでいただきたい。なお、ふるさと納税による寄附金は各部局の特定財源として取り扱うこととする。

☆稲垣副知事

平成 30 年度当初予算編成に向けては、歳出の削減はもちろんであるが、特に歳入確保について、各部局真剣に取り組むこと。各部局での歳入確保の取組が実施されることを前提にして、財政フレームを検討していく。

議題 2 「三重県財政の健全化に向けた集中取組」における「職員数の見直し」について

●山本課長【総務課】（資料 2 に基づき説明）

「三重県財政の健全化に向けた集中取組」の取組項目である「職員数の見直し」について「取組の視点」の具体化に取り組み、職員数の削減を進めていく。

具体的には、集中取組期間においては、国体等の準備・運営体制の整備を優先し、業務の廃止・見直しや組織の簡素・効率化等を図りながら、各部局等の定数を見直し、国体等の準備・運営部門に配置することとするので、各部局等についても協力をお願いしたい。

（質疑等なし）

議題3 時間外勤務時間実績の状況について

●畑中課長【行財政改革推進課】(資料3に基づき説明)

ワーク・ライフ・マネジメントにおける主な目標であり部局間のばらつきが見られる時間外勤務について、短いスパンでの進捗管理を行うため、6月末時点実績を共有する。これまでの実績把握より簡便な方法で集計していることをご了承いただきたい。

また、先週から定時にスイッチオフ運動が始まり、総務部と組合とで本庁舎の状況確認に回ったところ、概ねいったん消灯していただいていた。ただし、時間外勤務や時差出勤の職員まで消灯していたり、時間外命令を受けていることが明確でない職員もいたため、取組の趣旨の周知徹底について共通幹事会でお願いしたところである。引き続き8月まで運動にご協力いただきたい。

(質疑等なし)